

第6章 資料編

1 「奈良県子ども・子育て応援プラン」(平成22～26年度)目標指標の達成状況

奈良県子ども・子育て応援プラン(H22～26年度次世代育成支援後期行動計画)では、10の推進施策ごとに平成26年度における目標を設定し、取り組みを推進してきました。

この目標指標の平成25年度末までの達成状況は、次のとおりです。

成果(アウトカム)指標

推進施策	成果目標指標	H20時点	H25実績	増減	H26目標
1 家庭の子育て力の強化	子育てに心理的・精神的な不安・負担を強く感じている母親の割合	19.8%	13.3%	△6.5 ポイント	10.0%
2 地域における子育て支援	保育所が充実していることの育児期の満足度	2.56	2.98 (H26実績)	0.42	3.00
3 職業生活と家庭生活との両立の推進	仕事と子育ての両立ができることの育児期の県民満足度	2.53	2.75 (H26実績)	0.22	3.00
4 子育てを支援する生活環境の整備	安心して子どもを生き育てられる環境が整っていることの育児期の県民満足度	2.49	2.83 (H26実績)	0.34	3.00
5 子どもの安全の確保	住民が犯罪に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせることの育児期の県民満足度	2.44	3.13 (H26実績)	0.69	3.00
6 援護を必要とする児童等に対する取組の推進	子育てに悩んだときなどに気軽に相談できる環境が整っていることの育児期の県民満足度	2.82	2.78 (H26実績)	△0.04	3.00
7 人間性豊かで心身共にたくましい子どもを育てる教育現場の整備	社会的に自立できる子どもが育っていることの育児期の県民満足度	2.59	2.82 (H26実績)	0.23	3.00
8 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進	子どもが怪我や急病時にいつでも診てもらえる医療体制が整っていることの育児期の県民満足度	2.35	2.75 (H26実績)	0.40	3.00
9 妊娠・出産の支援	安心して子どもを出産できる医療体制が整っていることの夫婦の県民満足度	2.27	2.72 (H26実績)	0.45	3.00
10 若者の自立支援	いずれは結婚したいと答えた人の割合(20歳から39歳の未婚者)	83.7%	70.4%	△13.3 ポイント	90.0%

行動（アウトプット）指標

推進施策	行動目標指標		H20 時点	H25 実績	増減	H26 目標	
1 家庭の子育て力の強化	ホームページ「子育てネットなら」のアクセス数		730,000 件/年	805,434 件/年	75,434 件/年	900,000 件/年	
	「パパと遊ぼう！セミナー」の実施回数		6 回	累計 33 回	27 回	累計 30 回	
	祖父母対象の子育てセミナーの実施回数		4 回	累計 21 回	17 回	累計 20 回	
2 地域における子育て支援	地域子育て支援拠点事業実施箇所数	ひろば型	22 か所	39 か所	17 か所	47 か所	
		センター型	25 か所	23 か所	△2 か所	23 か所	
		児童館型	0 か所	0 か所	0 か所	1 か所	
	ファミリー・サポート・センター設置市町村数		7 市町村	10 市町村	3 市町村	12 市町村	
	通常保育事業（認可保育所）受入可能児童数	3歳未満児	8,272 人	10,271 人	1,999 人	8,940 人	
		3歳以上児	13,874 人	14,445 人	571 人	13,837 人	
	特定保育事業 実施箇所数		7 か所	7 か所	0 か所	9 か所	
	延長保育事業 実施箇所数		136 か所	156 か所	20 か所	154 か所	
	夜間保育事業 実施箇所数		1 か所	1 か所	0 か所	3 か所	
	休日保育事業 実施箇所数		4 か所	6 か所	2 か所	14 か所	
	一時預かり事業 実施箇所数		60 か所	61 か所	1 か所	79 か所	
	病後児保育等事業実施箇所数	病児・病後児対応型	6 か所	11 か所	5 か所	13 か所	
		体調不良児対応型	9 か所	15 か所	6 か所	16 か所	
	子育て短期支援事業実施施設数	ショートステイ	8 か所	8 か所 (27 市町村)	0 か所	15 か所 (11 市町村)	
		トワイライトステイ	8 か所	8 か所 (27 市町村)	0 か所	14 か所 (10 市町村)	
	放課後子どもプラン	放課後児童健全育成事業	登録児童数	10,035 人	10,710 人	675 人	10,623 人
			実施箇所数	204 か所	254 か所	50 か所	245 か所
		放課後こども教室実施箇所数		53 か所	72 か所	19 か所	89 か所
	子育てサークル数		251 団体	208 団体	△43 団体	280 団体	
	なら子育て応援団	利用登録者数		2,400 人 (H22.2.末)	13,951 人	11,511 人	10,000 人
登録団体数		637 団体 (H22.2.末)	737 団体	100 団体	1,000 団体		

推進施策	行動目標指標	H20 時点	H25 実績	増減	H26 目標	
3 職業生活と家庭生活との両立の推進	男女共同参画県民会議構成団体による推進取組事業数	105 件	117 件	12 件	118 件 (※注1)	
	育児休業制度の普及率	75.3%	80.4%	5.1 ポイント	90.0%	
	通常保育事業(認可保育所)受入可能児童数(再掲)	3歳未満児	8,272 人	10,271 人	1,999 人	8,940 人
		3歳以上児	13,874 人	14,445 人	571 人	13,837 人
	特定保育事業 実施箇所数(再掲)	7 か所	7 か所	0 か所	9 か所	
	延長保育事業 実施箇所数(再掲)	136 か所	156 か所	20 か所	154 か所	
	夜間保育事業 実施箇所数(再掲)	1 か所	1 か所	0 か所	3 か所	
	休日保育事業 実施箇所数(再掲)	4 か所	6 か所	2 か所	14 か所	
	一時預かり事業 実施箇所数(再掲)	60 か所	61 か所	1 か所	79 か所	
	病後児保育等事業実施箇所数(再掲)	病児・病後児対応型	6 か所	11 か所	5 か所	13 か所
		体調不良児対応型	9 か所	15 か所	6 か所	16 か所
	放課後児童健全育成事業(再掲)	登録児童数	10,035 人	10,710 人	675 人	10,623 人
		実施箇所数	204 か所	254 か所	50 か所	222 か所
	ファミリー・サポート・センター設置市町村数(再掲)	7 市町村	10 市町村	3 か所	12 市町村	
4 子育てを支援する生活環境の整備	誘導居住水準達成世帯率	全世帯の 60.3% (H15 年調査)	全世帯の 61.5% (H20 年調査)	1.2 ポイント	全世帯の 66.7%	
	バリアフリー化された鉄道駅数 ¹	26 か所	33 か所	7 か所	32 か所	
	バリアフリー基本構想の策定数	2 件(H21)	4 件	2 件	5 件	
	都市計画区域内人口一人あたり歩いて行ける範囲の都市公園面積	3.4 m ² /人	3.6 m ² /人 (H24 年度末)	0.2 m ² /人	3.7 m ² /人	
	都市計画区域内人口一人あたり都市公園面積	11.8 m ² /人	12.2 m ² /人 (H24 年度末)	0.4 m ² /人	12.7 m ² /人	
	バリアフリー対応型信号機等の整備	254 か所	278 か所	24 か所	285 か所	
	5 子どもの安全の確保	小学校に対する被害防止教室の実施率	92.3%	74.2%	△18.1 ポイント	100%
小学校・幼稚園・保育園に対する交通安全教室の実施率		74.5%	92.9%	18.4 ポイント	100%	

¹ 1日あたり平均利用者数5千人以上で、エレベーター及びスロープにより段差解消済駅

推進施策	行動目標指標	H20 時点	H25 実績	増減	H26 目標	
6 援護を必要とする児童等に対する取組の推進	要保護児童対策地域協議会(ネットワーク)設置市町村数	30 市町村	39 市町村	9 市町村	39 市町村	
	養育里親登録数	50 人(H21)	79 人	29 人	85 人	
	母子家庭等就業・自立支援センターのバンク登録者の就業率	39.3%	43.8%	4.5 ポイント	50.0%	
	障害児等療育相談実施箇所数	4 か所	3 か所	△1 か所	6 か所	
	個別の指導計画を作成している学校の割合	85%	95%	10 ポイント	95%	
7 人間性豊かで心身共にたくましい子どもを育てる教育現場の整備	赤ちゃんとのふれあい体験事業を実施している高校の実施率	54%	100%	46 ポイント	100%	
	キャリア教育の充実(職場体験、インターンシップ、ボランティア体験実施校の割合)	100%	100%	0 ポイント	100%	
	学校評議員制度の実施率	小中学校	83%	92.5% (H23)	9.5 ポイント	100%
		高校	100% (H21)	100%	0 ポイント	100%
	県内での国際交流の事業数	280 事業	327 事業	47 事業	340 事業	
	総合型地域スポーツクラブ設立市町村数	15 市町村	36 市町村	21 市町村	39 市町村	
	放課後こども教室実施箇所数(再掲)	53 か所	72 か所	19 か所	89 か所	
	家庭教育支援講師派遣回数	125 回	194 回	69 回	130 回	
	条例関係事業者立入調査件数	508 件 (確定値) 400 件 (暫定値)	累計 1,510 件	1,002 件	累計 2,000 件	
	小・中・高校生をあわせた1,000人あたりの暴力行為の発生件数	10.1 件	4.0 件	—	全国平均(4.1件)まで引き下げる	
	児童生徒1,000人あたりの不登校児童生徒数	公立小学生	4.0 人	4.5 人	—	全国平均(3.1人)まで引き下げる
		公立中学生	35.6 人	28.9 人	—	全国平均(25.6人)まで引き下げる
		県立高校生	13.3 人	9.8 人	—	10.0 人(参考:全国平均 17.2人)

推進施策	行動目標指標	H20 時点	H25 実績	増減	H26 目標
8 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進	未熟児訪問指導の実施率	90%	85.5%	△0.5 ポイント	100%
	食育推進計画を作成・実施している市町村の割合	17.9%	61.5%	43.6ポイント	100% (※注2)
	食育に関する計画を策定済の保育園の割合	96.0%	97.2%	1.2ポイント	100%
	思春期の課題に対する学校への専門家派遣件数(性・薬物乱用・心の問題等)	20校	58校	38校	40校
	小児救急医療電話相談事業における相談件数	1,423件/ 年	19,366件/ 年	17,943件/ 年	20,000件/ 年
9 妊娠・出産の支援	ハイリスク妊婦の県外搬送比率	22.5%	7.4%	△15.1 ポイント	10.0% 以下
	特定不妊治療費助成事業における助成件数	558件	1,144件	586件	880件
	不妊専門相談センター事業における相談件数	59件	118件	59件	90件
10 若者の自立支援	職業訓練修了者、ジョブカフェ登録者の正規雇用就職率	30.8%	36.6%	5.8ポイント	60.0%
	なら出会いセンターイベント参加者の結婚報告数	累計120 件	累計269 件	149件	累計300 件

[H26 目標数値について]

(※注1) 男女共同参画県民会議構成団体による推進取組事業数(推進施策3)

平成22年度に目標値(110件)達成のため、「なら GENKI プラン」(奈良県男女共同参画計画(第2次))において、平成27年度目標値を120件に設定。これより平成26年度目標値を118件とした。

(※注2) 食育推進計画を作成・実施している市町村の割合(推進施策8)

平成25年度に目標値50%を達成。第2期奈良県食育推進計画において、平成29年度目標値を100%としたため、平成26年度目標値を100%とした。

上記の行動(アウトプット)指標について、平成25年度末までに達成した項目が20項目、80%以上達成した項目が23項目で、合わせて全体の約8割を占めており、平成22年度からの4年間において、施策はおおむね順調に進捗しました。

2 「平成 25 年度奈良県子育て実態調査」結果

(1) 調査実施概要

本県において子どもを生き育てやすい環境づくりを進める取り組みを検討する基礎資料とするため、県民の結婚や子どもを持つこと、子育てに関する意識や現状を把握する実態調査を実施しました。

	夫婦調査	独身者調査
調査対象	平成 25 年 9 月 1 日現在で結婚している 50 歳未満の女性	平成 25 年 9 月 1 日現在で 18 歳以上 50 歳未満の独身男女
調査実施期間	平成 25 年 9 月 1 日～11 月 25 日	
調査票配布数	2, 115	1, 822
有効回答数	1, 884	1, 591
有効回収率	89. 1%	87. 3%
調査方法	訪問留置方式(調査員が調査票を配布・回収)	
調査項目	(48項目) ・就労に関すること ・夫婦の出会いと結婚のきっかけに関すること ・子育ての手助けの有無及び支援制度の利用 に関すること ・出産や子育ての不安・負担感に関すること ・重要と考える子育て支援策に関すること 等	(23項目) ・就労に関すること ・結婚や独身生活、子どもを持つこと等について の考え ・子育てに関するイメージ 等

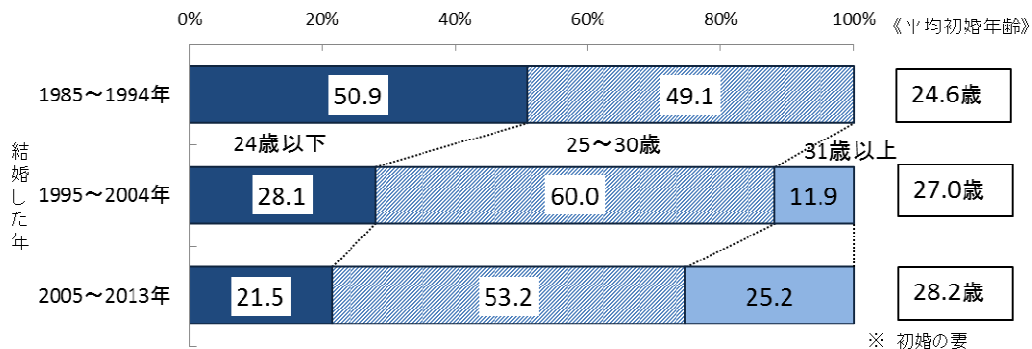
(2) 調査結果概要

①結婚

■結婚年代別妻の初婚年齢【夫婦調査】

質問：ご夫婦の「生年月日」、「結婚を始めた日」、「初再婚の別」について記入してください。

1985～1994 年の間に結婚した妻の初婚年齢は「24 歳以下」と「25～30 歳」の各年代が半々を占めていたが、1995 年以降は、「25～30 歳」が5割を超え、「31 歳以上」の割合も上昇している。2005～2013 年に結婚した人の平均初婚年齢は 28.2 歳で、1985～1994 年の 24.6 歳と比較すると 3.7 歳、年齢が高くなっている。

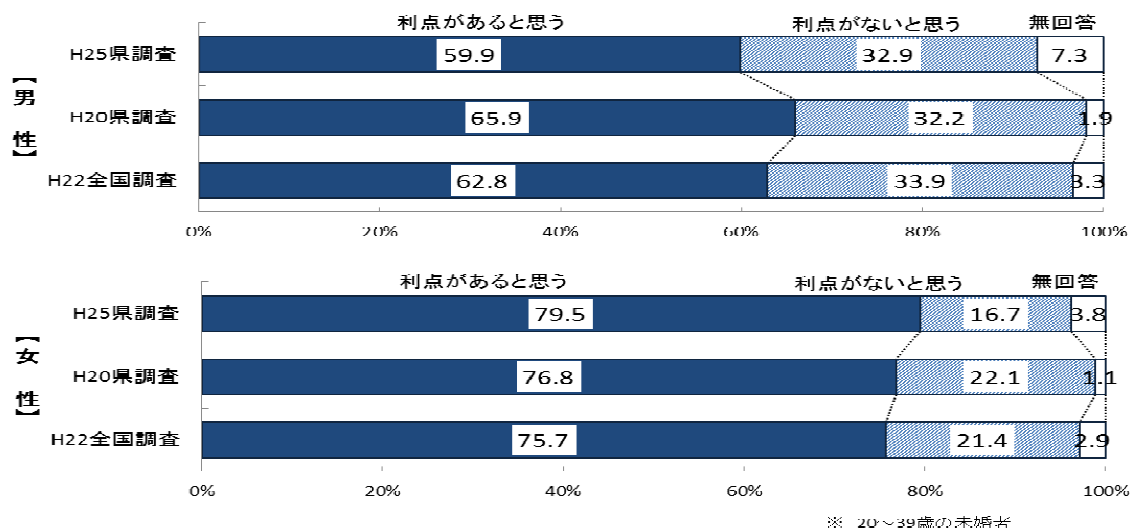


■結婚することの利点【独身者調査】

質問：結婚することに何か利点があると思いますか。

男性の場合、結婚に「利点があると思う」の割合は 59.9%で、「利点はないと思う」の割合の 32.9%を上回っているものの、女性の 79.5%に比べ 19.6 ポイント低い。また、「利点があると思う」の割合は前回調査の 65.9%から 59.9%に低下している。

これに対し、女性の場合、結婚に「利点があると思う」の割合は 79.5%で、「利点はないと思う」の割合の 16.7%を大きく上回っており、前回調査及び全国調査の割合に比べ高い。

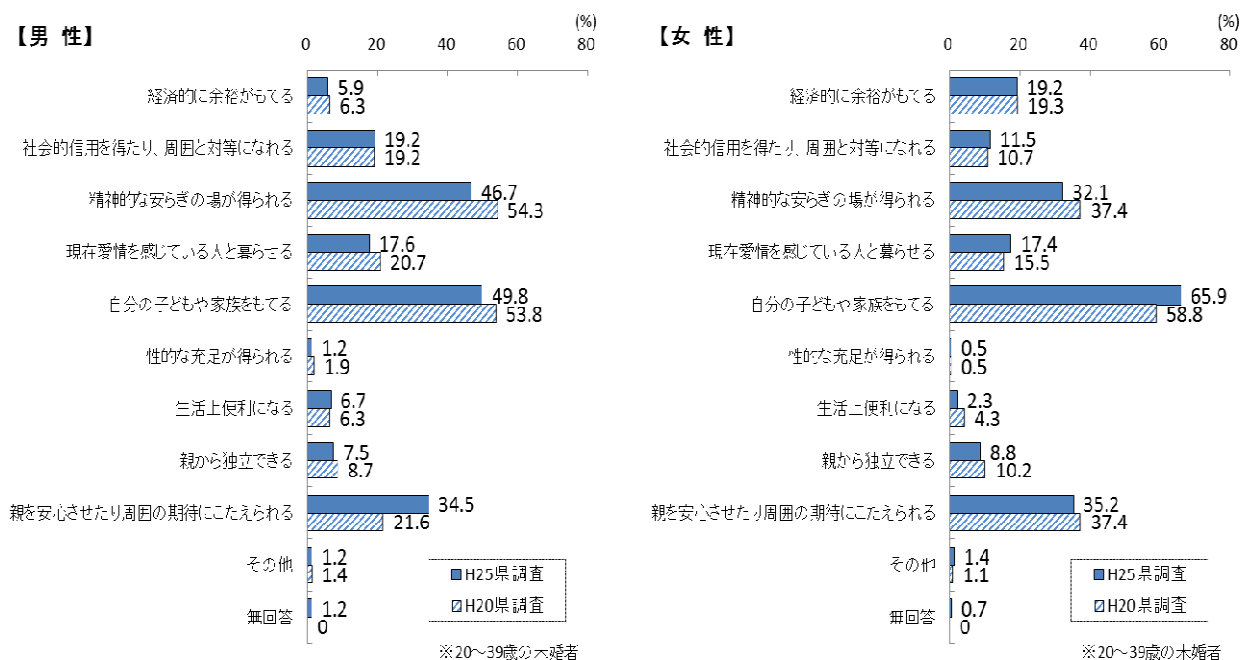


■結婚することの利点の具体的な内容【独身者調査】

質問：（「利点があると思う」と回答した方）具体的な利点は何ですか。（2つに○）

男性の場合は、前回調査の結果同様、「自分の子どもや家族をもてる」が 49.8%で最も多く、次いで「精神的な安らぎの場が得られる」の 46.7%となっている。これらの割合は前回調査に比べ低下し、「親を安心させたり周囲の期待にこたえられる」(34.5%)は 12.9 ポイント上昇している。

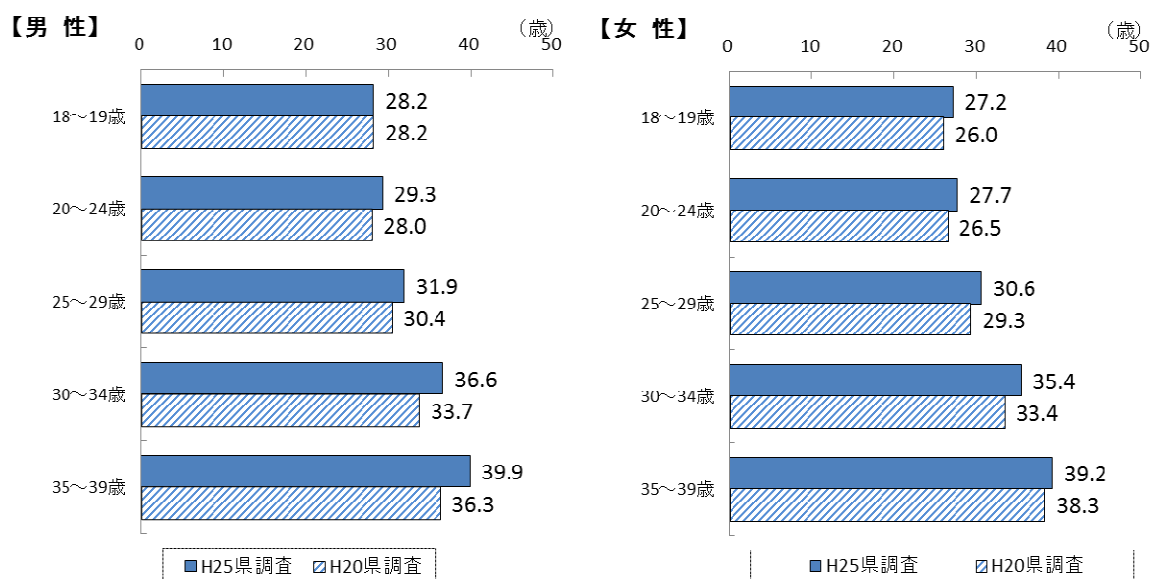
一方、女性の場合も、「自分の子どもや家族をもてる」が 65.9%で最も多く、これに次いで「親を安心させたり周囲の期待にこたえられる」が多くなっている。



■希望結婚年齢【独身者調査】

質問：（「いずれ結婚するつもり」と回答した方）何歳ぐらいの時に結婚したいと思いますか。

各年代の独身者が希望する結婚年齢の平均をみると、前回調査の結果に比べ、18～19歳の男性を除いて、男女とも上昇している。



※いずれ結婚するつもりの方(40歳以上及び年齢不詳除く)

②妊娠・出産

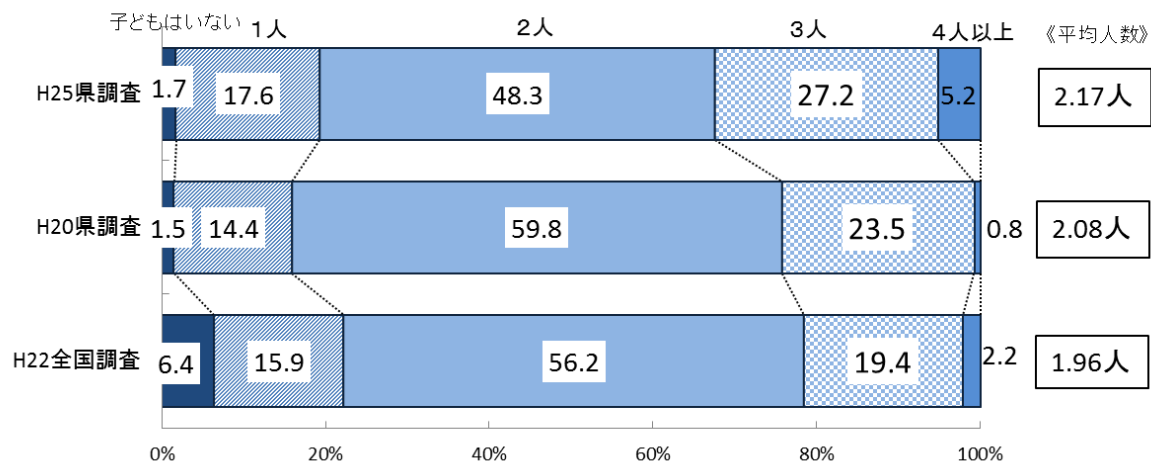
■出生した子ども数【夫婦調査】

質問：何人子どもを生まれましたか。

夫婦間の最終的な子ども数(全国調査にあわせ結婚持続期間が15～19年の夫婦間の子ども数と定義)をみると、「2人」の割合が48.3%で最も高く、次いで「3人」の割合が27.2%となっている。

前回調査の結果に比べ、「2人」の割合は低下し、「1人」及び「3人」の割合が上昇している。

また、全国調査の結果に比べ「3人」の割合が高く、子どもの平均数は2.17人であり、前回調査及び全国調査の結果に比べ多い。

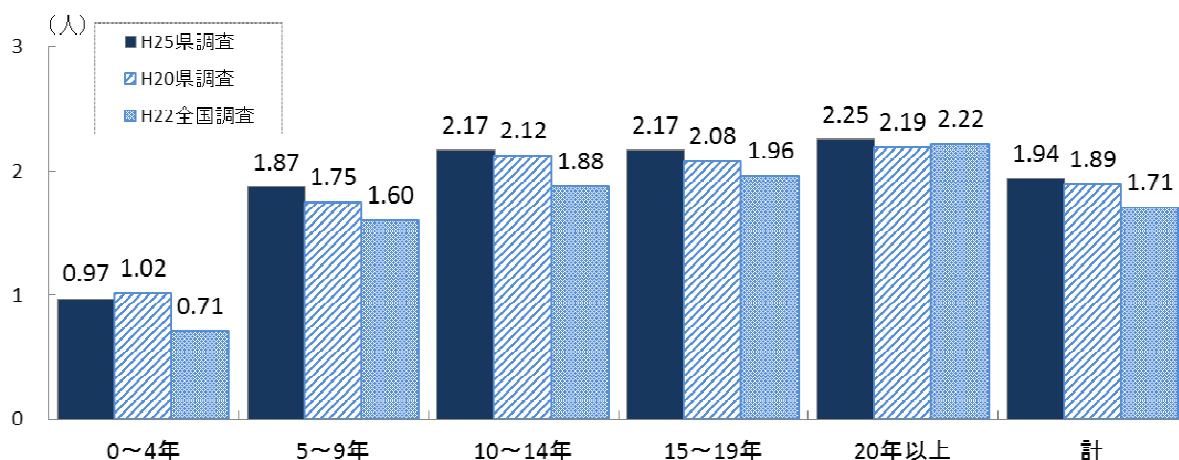


※ 結婚持続期間15～19年の初婚どうしの夫婦の妻

■結婚継続期間別出生子ども数【夫婦調査】

結婚継続期間と出生子ども数との関係を見ると、初婚どうしの夫婦の間に生まれた子どもの平均人数は 1.94 人で、前回調査の 1.89 人から 0.05 人増加し、全国調査の 1.71 人に比べ 0.23 人多い。

結婚継続期間別では、0～4年を除く各期間で前回調査及び全国調査の平均人数を上回っている。



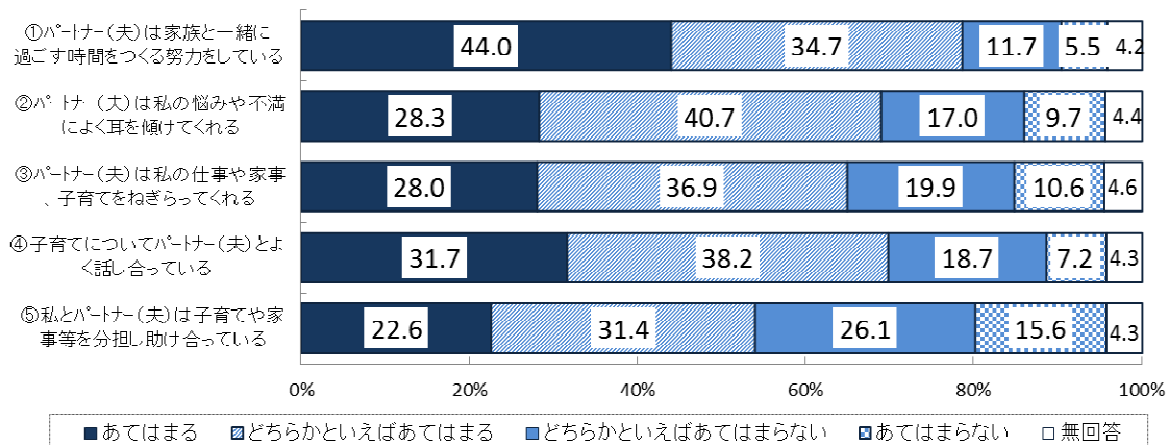
※初婚どうしの夫婦の妻(無回答及び結婚継続期間不詳を除く)

③子育て

■パートナー(夫)との関係【夫婦調査】

質問：パートナー(夫)との関係についてお聞きします。(あてはまるものに○)

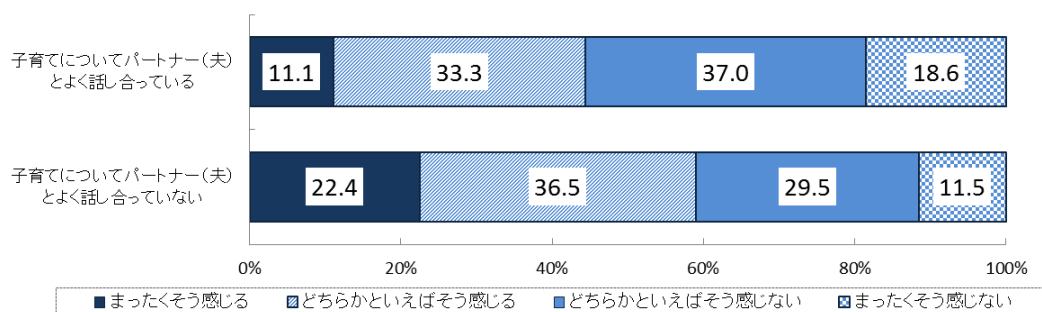
「①パートナー(夫)は家族と一緒に過ごす時間をつくる努力をしている」の割合(「あてはまる」の割合と「どちらかといえばあてはまる」の合計)が 78.7%で最も高い。これに対し「⑤私とパートナー(夫)は子育てや家事等を分担し助け合っている」の割合が 54.0%で最も低く、あてはまらない割合(「あてはまらない」の割合と「どちらかといえばあてはまらない」の割合の合計)が 41.7%と最も高くなっている。



※子どもがいる夫婦の妻

■パートナー(夫)との話し合い状況別 子育ての心理的・精神的な不安・負担感【夫婦調査】

パートナー(夫)との関係のうち「よく話し合っている」状況と妻の子育ての心理的・精神的な不安・負担感との関係を見ると、子育てについてパートナー(夫)とよく話し合っている妻のほうが、そうでない妻に比べ、子育ての心理的・精神的な不安・負担を感じている割合は低い。



※6歳未満の子どもがいる夫婦の妻(無回答を除く)

■子育ての楽しさ・つらさ【独身者調査】

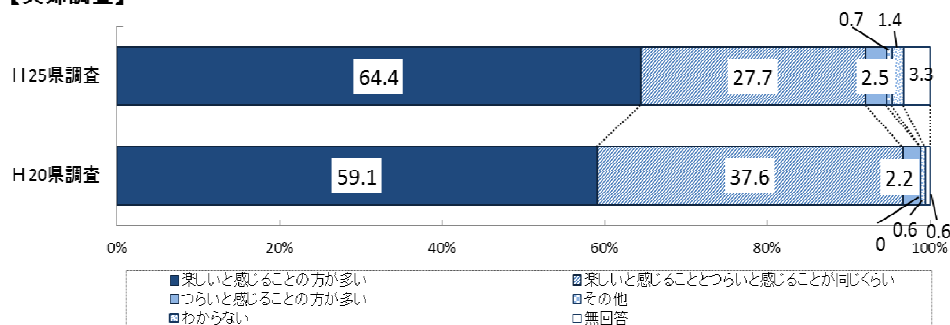
質問：【夫婦調査】自分にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか、つらいと感じることが多いと思いますか。(1つに○)

【独身者調査】子育てについてどのように思いますか。(1つに○)

夫婦調査では、前回調査の結果に比べ、「楽しいと感じることの方が多し」の割合が59.1%から64.4%と5.3ポイント上昇する一方、子育てを「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」の割合が37.6%から27.7%と9.9ポイント低下している。

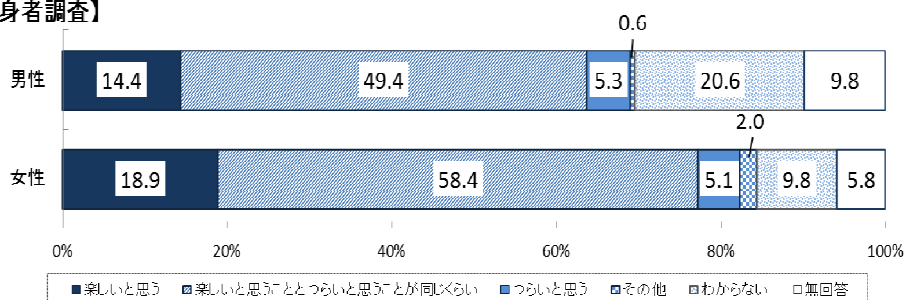
独身者調査では、子育てを「楽しいと思うこととつらいと思うことが同じくらい」の割合が男性では49.4%、女性では58.4%を占め、いずれも「楽しいと思う」の割合を大きく上回っており、男性に比べ女性で高くなっている。

【夫婦調査】



※6歳未満の子どもがいる夫婦の妻

【独身者調査】



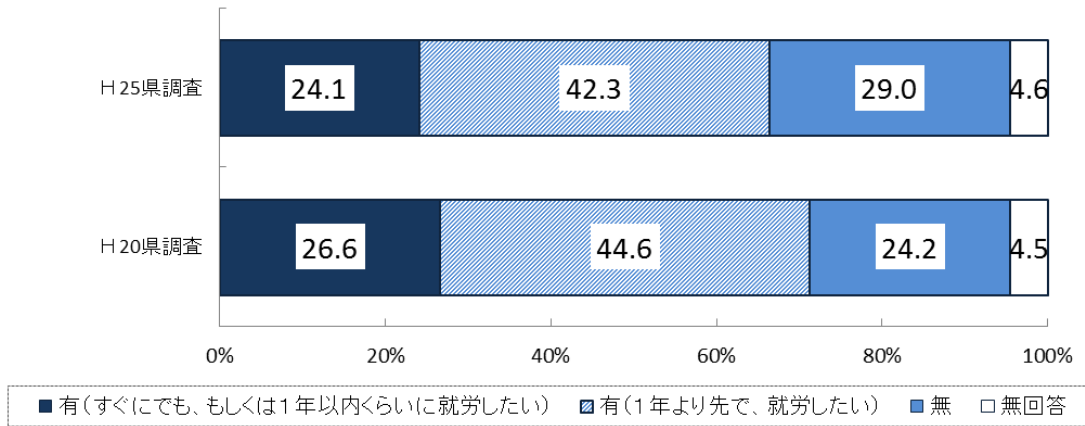
※子どもがいない独身者

④就労

■未就労の妻の就労希望【夫婦調査】

質問：（現在仕事をお持ちでない方）今就労を希望されていますか。

現在無職の妻の就労希望について、「すぐにでも、もしくは1年以内くらいに就労したい」の割合は24.1%となっており、前回調査に比べやや低下し、「就労希望なし」の割合が上昇している。

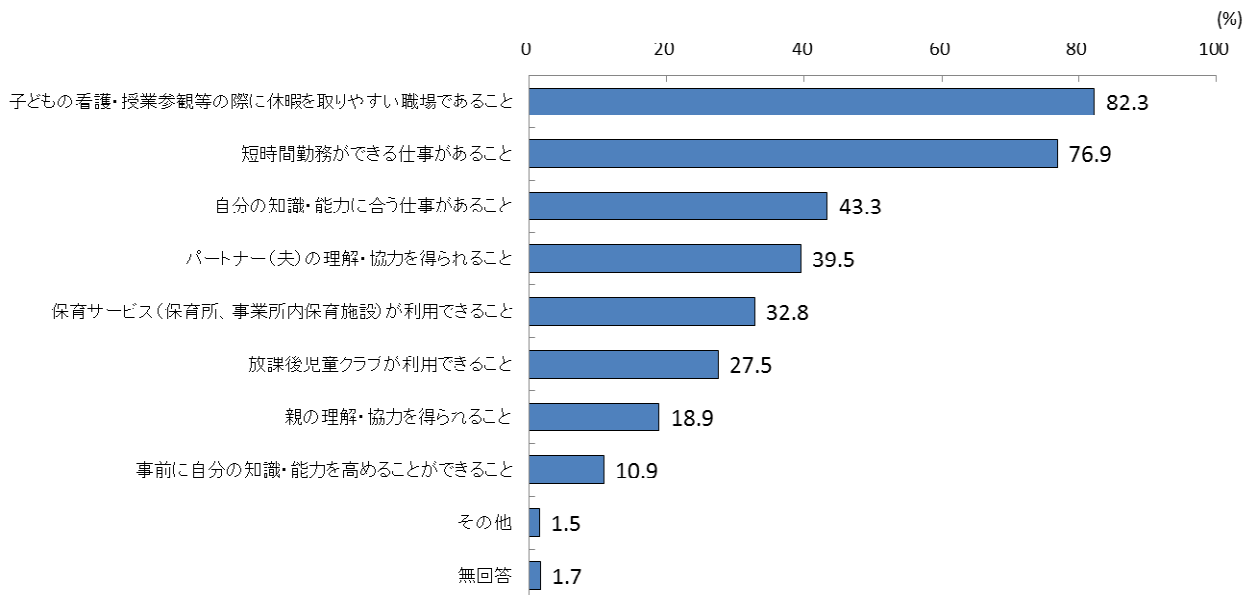


※現在就労していない妻(無回答を除く)

■就労の条件【夫婦調査】

質問：（現在仕事をお持ちでなく、「就労を希望している」と回答した方）今後どのような条件が整えば就労しようと思いますか。（あてはまるものに○）

就労を希望する妻の就労にあたっての条件をみると、「子どもの看護・授業参観等の際に休暇を取りやすい職場であること」(82.3%)や「短時間勤務ができる仕事があること」(76.9%)など、休暇や勤務時間に関することが多い。



※現在就労せず、今後就労希望がある妻